

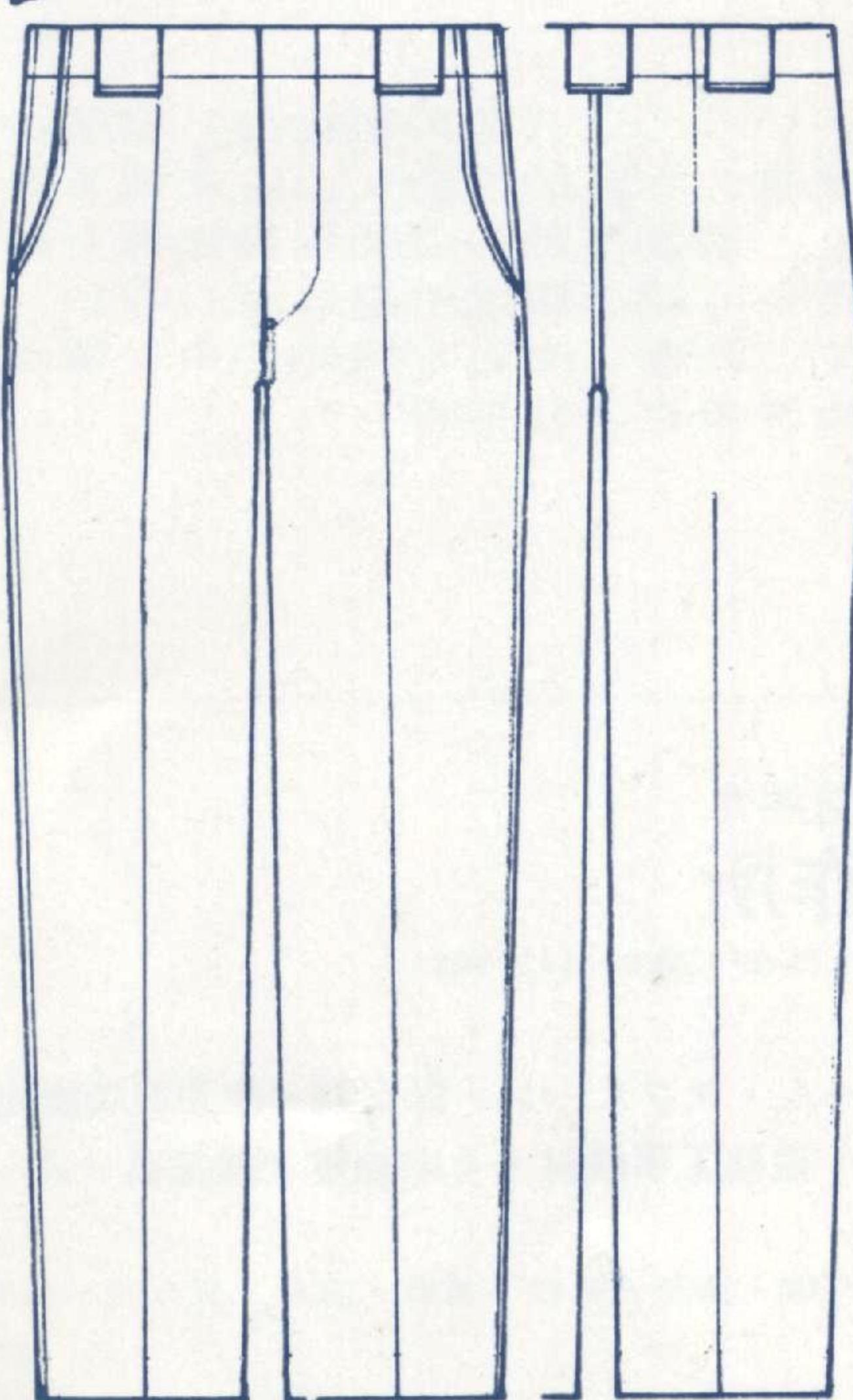
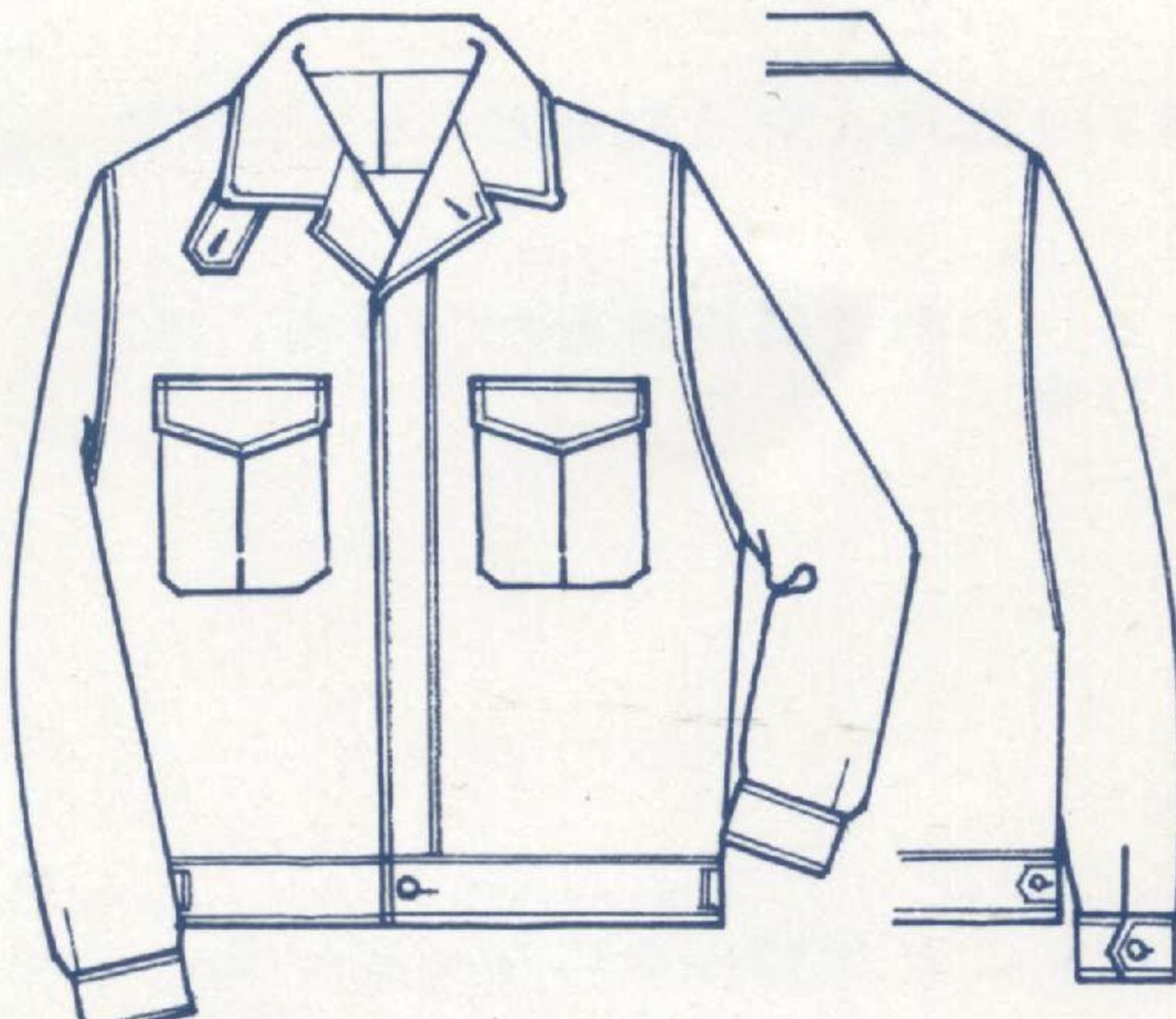
タニザワの 100%綿 防炎 防熱服

熱と炎に強い
熱と炎で縮まない
綿の快適な着心地

海外から導入した最新の防炎生地により製作
(データ: 下記および裏面参照)

JISによる燃焼試験(洗濯後の性能共)
(データ: 裏面)

防炎、防熱服としての機能をフルに生かしたデザイン
(着数により特別仕様承ります。色は紺色)



「米海軍空軍開発センターの厳しいテストによると、木綿は、肌を熱から守るには一番よい。木綿は、直接炎に触れる場合であれ、輻射熱の場合であれ、ほかの何よりも、断熱時間が長もちする。

(試験)

コットンツイル 10オンス／ヤード²、0.664ミリ厚

炎接触の際の保護時間(秒)

(熱流量 1.3カロリー／cm²／秒、1200°C)

痛みを感じるまで 約 2.3秒

火ぶくれを生ずるまで 約 5.7秒

輻射熱を浴びた時の保護時間(秒)

(熱流量 5 カロリー／cm²／秒、1900°C)

痛みを感じるまで 約 5.5秒

火ぶくれを生ずるまで 約 13秒

防炎服上下サイズ表

単位cm

	上 衣			ズボン	
	肩巾	丈	袖丈	腰囲	股下
M	43	66	54	79	74
L	45	69	56	82	74
LL	48	72	57	85	74

■防炎試験

●溶融金属の接触

表面が黒く焦げるだけで、何よりも、作業服が焦げても下着とくつつかないのが長所。

●輻射熱防禦

ヘキサミンの錠剤を生地の上に置いて点火、90秒燃えて消えた。生地の下の熱測定紙に何の色変化も生じない。

●燃えている燃料にさらす

10秒間さらす。少し焦げた。防炎コットン生地の大きな特長は、収縮が全然ないこと。

●可燃性液体に浸して点火

少し焦げただけで、他に変化なし。合纖は収縮し、ねじれて、ボロボロになる。

※収縮は、衣服の機能にとって決定的ダメージ(痛手)となる。

■耐久性試験

●強度

引裂、引張強度とも、普通の木綿生地と殆んど同じ。

●耐候性

ウェザオメーターで、1年着用と同じくらいの光にさらした。引張、引裂とも強度不变。

●洗濯

洗濯と乾燥を50回やって防炎試験をやる。やる前、2.8ミリ炭化、やったあと7.6ミリ炭化。(と防炎性能の劣化は少ない。)(JISの洗濯試験参照)

※どうしてこんなに洗濯に強いか?

薬液が一本一本の繊維の核心に防炎ポリマーを形成する。これで防炎性能ができる。洗濯してもその防炎ポリマーが押出されず、防炎性が保たれる。

※洗濯上の注意

- 禁止——漂白、糊付け、柔軟剤の使用。
- 非イオン系界面活性剤を用いること。

■衛生

発がん性、皮ふの炎症性など、あらゆるテストで心配ないことが明らかになっている。

■着心地

綿の着心地を、ここで改めて述べるまでもない。着心地というのは、(その繊維の)構造の中に、どの程度の水を含むことができるかという、その繊維の本質的性能によって決まるのだそうだ。木綿の繊維は最適の性能と云える。合纖など、表面だけの湿気保持処理だけでは、到底その性能に及ばない。防炎処理をしても、こういう綿の吸湿性能は減らない。防炎処理に使う化学薬品は、セルローズと反応を起こさず、ただ、それが繊維の中に置かれるだけだから、であろう。(以上、防炎生地メーカーのカタログより抜粋)

試験證明書
株式会社 谷沢製作所 殿 正

試験證明書
昭和56年 2月22日

左に貼付せる 100%コットン防炎生地 BT-2960
は当検査協会に於いて試験の結果
下記の通りである。

No.	燃焼性試験(炭化面積)			
	Original	試験後(ノロヨロ有無)	縦方向	横方向
1	22.7cm ²	20.3cm ²	22.2cm ²	23.5cm ²
2	21.0	21.8	22.8	23.2
3	21.3	22.8	21.6	24.8
平均	21.7cm ²	22.0cm ²	22.7cm ²	23.6cm ²
	Originalに対して		+4.6%	+2.3%
燃炎消じん	なし	なし	なし	なし

試験方法
燃焼性試験 洗たく試験
JIS-L-1091-1972 JIS-L-C27/1976-103号
▲ノズル 水ぬれ 2.5回

温度 - ℃ 湿度 - %

産業安全保護具一式製造販売

株式会社 谷沢製作所

〒104 東京都中央区銀座5-11-4 (常磐興産ビル6F) ☎03(543)9051

営業品目

保護帽・安全帯・安全ネット・仮設用具・風管・送風機・防熱素材カイノール・スクリーン・保安灯・作業環境測定機器
マスク・呼吸器・目と耳の保護具・衣服と手と足の保護具・タンカ・標識・道路工事機材・その他安全保護具一式

代理店 全国各地

営業所 札幌・苫小牧・大館・盛岡・仙台・郡山・東京・千葉・横浜・名古屋・大阪・神戸・高松・倉敷・広島・北九州・福岡
工 場 札幌・仙台・茨城・埼玉・東京・名古屋・大阪・広島・高松・福岡

代理店(最寄り営業所)